



会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開催日時	平成31年1月10日(木) 開会：18時00分・閉会：18時45分	
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	阿久津彰良、笠原利子、堀内 規、古田和也、小林雅世、馬渡夏美、鈴木武則、澤田千尋、鳥塚智子、加藤里美、川島 治、溝上俊亮	
欠席者(委員)氏名	島田 喬、原 寛和、小林永治、本木瑞穂、嶋田由紀子	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	経過報告 平成31年度の研修内容について	
会議資料	(資料名・概要等) 議題	
その他必要事項		
会議録の定	確定年月日	主宰者記名押印
	31年2月14日	阿久津彰良  笠原利子 

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
笠原委員	<p>[開会]</p> <p>ふらっと会議を始める。阿久津委員から遅れると連絡あり、私の方で始めさせて頂く。本日の議題、宿題の医療介護連携をふまえての研修について意見を頂きたい。研修会の反省、来年度の研修内容、回数について纏めていく。報告だが、10月の会議の後に市の担当者と意見交換をした。個人スキルの向上の研修については、摂食嚥下研修会は事業対象内にて継続をしていく。多職種合同意見交換会を1月31日、18時30分から、商工センターにて定員100名で行う。認知症事例をふまえ多職種がどの様に関わるのか、時期や職域と共通認識として共有するという事で、既に通知が出ている。締め切りは18日。</p> <p>議題に移る。宿題として意見を頂いた。それぞれの委員よりご説明頂きたい。まず、入院時情報提供書、退院時情報記録書について鳥塚委員より願います。</p>
鳥塚委員	<p>ケアマネの担当利用者が入院し、情報提供すると、近ければ近い程点数が高い。入院時情報提供書を出して、退院時も加算が付くという事でそれを見たが、どこを選べば良いか難しい。もう一度確認する機会があっても良い。</p>
笠原委員	<p>これについて皆様のご意見は？実際使っている方からのご意見を頂くという事で宜しいか？</p>
鳥塚委員	<p>ケアマネは日常的に使っていると思うが、ケアマネ止まりで現場に情報が回ってこない。ケアマネが持っていれば良いという感じで疑問に思う。ケアマネからの説明が十分で皆が共有できればそれでいいのかなと思う。</p>
笠原委員	<p>医療介護連携をふまえての各事業所の紹介、澤田委員お願い</p>

<p>澤田委員</p>	<p>します。</p> <p>サービスを知るという事に着目をおく。事業所や自分達のサービスを紹介すると、介護側からも参加率が増えるのではないかと。紹介をしてもらってそれで1回、2回目の時にグループワーク形式で色々なサービスの使い方を検討しても良い。研修会だが、遅い時間のスタートで、尚且つ内容が2つ分を2時間ちょっとで行う。もう少し余裕があれば良い。2回分として各職種の役割や仕事内容、サービスの紹介から利用者が退院して介護保険を利用するという流れにもっていくのが良い。</p>
<p>笠原委員</p>	<p>多職種が共に地域課題を解決していくグループワーク、古田委員お願いします。</p>
<p>古田委員</p>	<p>実際歯科としては医療介護の現場へは介入が少ない。宿題という事だったので、色々な本や資料を見た。阿久津委員のメールにもあったが、スキルを上げる研修とグループワークの研修が2つあるという事を知って、1月31日に多職種合同意見交換会がある様だが、それと同じ様な事を考えて意見を出した。詳しい事は分からないが。</p>
<p>笠原委員</p>	<p>多職種でのカンファレンスのロールプレイ寸劇、馬渡委員お願いします。</p>
<p>馬渡委員</p>	<p>退院から退院調整カンファレンスなどをやる機会が多い。多職種の人が担当者会議で集まると思うが、ロールプレイで寸劇をする事で、どういう視点で各職種が関われるか、もう1回振り返る機会になる。在宅療養者の初期褥瘡のケースが多職種で関われるので、カンファレンスや話し合いの場面を想定し話し合えたら良い。訪問看護事業の研修会でロールプレイをした事があった。そこにICTとかMCSを活用しているので、寸劇でやる</p>

阿久津委員	<p>事で MCS の使い方も拡がると思う。</p> <p>欠席の本木委員、島田委員の意見を発表させて頂く。</p> <p>本木委員から。介護保険を知る。ホームヘルパーとしては生活支援、身体介護の出来る事、出来ない事を知って頂きたい。逆に、ヘルパーが出来る医療行為と医療行為にならない事を勉強したい。</p> <p>島田委員。切れ目のない医療介護サービスの提供。理由は、他の市でもそれをテーマとしたものが多く、サービスを受ける側がいかにか安心して日常生活を行う事ができるかが重要。その為にどの業種がどういったサービスを提供しているか、各々が把握する必要がある。研修スタイルとして、ワールドカフェ形式を提案したい。例えば母子手帳の高齢者版みたいなものをイメージしている。</p> <p>研修 1 とか 2 とかなどと書いたが、2 に関しては研修 2 になるのか、1 と 2 の間かと思っている。介護保険全体の流れを知りたいというのが 2、4、5 番、ケースを使っての介護保険の流れは 6 番。その他は事業所、職種の仕事の説明と大枠で分ける。介護保険に関わっていない職種の方は介護保険全般の流れについて知りたいのか。関わっている方は、職種に説明とか理解、もう 1 回整理をという感じなのか？</p>
澤田委員	<p>そんな感じだと思う。</p>
阿久津委員	<p>方向性としては 3 つ。介護保険全体の流れを知るのが良いのかと私は思ったが、皆さんどうか？</p>
鳥塚委員	<p>いいと思う。</p>
鈴木委員	<p>宿題していません。自分の仕事の中では、介護保険を知るといのは、従事していても分からないところがある。何</p>

	<p>回も聞かないと覚えられない。介護全体の流れもよく分からないし、医療保険の方も実はよく分かっていない。医療と介護をどう繋いでいくのか、知っていて当たり前なのか？知る為にはどうしたらいいのか。ロールプレイとか見てみたい。</p>
堀内委員	<p>全体というと、法律から何から一切合切になってしまうのか。</p>
阿久津委員	<p>法制に関しては、この次多職種合同意見交換会で話がある。</p>
事務局（春日）	<p>多職種ではない。3月。</p>
阿久津委員	<p>3月の事業を展開した後に流れが分かってくると、医療側の理解力も上がる。介護保険を知らない方は沢山いるので、次年度に関しては介護系の現状を知るというテーマも良い。皆さんの意見も介護系が知りたいという事だった。実際関わっている方はおさらいしたいというのもあった。</p>
川島会長	<p>3月に市で講師をお呼びして、介護保険の話をされるが、その概要、企画などの説明をお願いしたい。</p>
事務局（春日）	<p>3月15日の夜、埼玉県立大学の大学院の先生をお呼びして医療保険と介護保険の関係性についてお話頂く予定。両方の保険制度内に組み込まれている多職種連携の仕組みを中心にお話頂こうと思っている。入退院時の情報連携の加算が何故ついてきたか、どちらの制度のどう加算が付くのか、リハビリがどうして医療から介護に移っていくのか、その他にも医療と介護の関係は切っても切り離せないなので、その辺を中心に先生にお話し頂きたいと思っている。内容はこれから交渉。時間は全部で1時間半程度。</p>
川島会長	<p>先生に折角お話しして頂けるので、アカデミックな話も含めて</p>

	<p>今なら組み込んでもらえるので、講義を研修でやってもらえれば次が進みやすいと思う。</p>
阿久津委員	<p>大学の先生の講義を聞き、知識を先に入れて、実際行田市ではどう動いているかという形で良いか？</p>
事務局（春日）	<p>3月は行田市で動いている話まで行けるかどうか…。</p>
阿久津委員	<p>まあいいです。法制ですよ。</p>
事務局（春日）	<p>国全体の制度を。</p>
阿久津委員	<p>国の流れ、及び法制と加算の説明があると思う。医療から介護にいく時の加算、介護から医療にいく時の加算。</p>
事務局（春日）	<p>加算の説明ではなく、何故そういうものが付いているのかという事。意義ですね。</p>
阿久津委員	<p>ロールプレイの話がでていますが、その他の手段として何か意見があればお願いしたい。馬渡委員から出された、事例的には摂食困難な症例と認知症の症例の事例を使い、どう多職種が関わっていくか、介護保険のどの領域を使っていくか、それを知った上で関わっていく職種を紹介していく。多くの職種が関わる様な事例設定にしたい。</p>
馬渡委員	<p>自分の職種の視点で見られるし、自分の知らない職種の関わり方が分かるので、そしたら自分達の現場でこういう職種の人が使えるものだと活かせる事ができる。</p>
阿久津委員	<p>イメージ的には通所系と在宅系？</p>

馬渡委員	<p>事例だが、例えば、在宅で老々介護、介護3か4位、でデイサービスやショートを利用している療養者が、食べられなくなり、動けなくなり、ヘルパーが初期褥瘡を発見し、ケアマネに相談。往診の先生にMCSで相談してカンファレンスを在宅で開く。介護の面でも、介護者が体調崩している設定にし、デイやショートを増やす。先生による褥瘡の必要な処置、薬剤師がいいと思う薬、リハビリさんは、ポジショニングとかリラクゼーションなどの提案など、意見が沢山入ってくる。そういうケースにしてMCSを使って実験し、ロールプレイをする。MCSの使い方に関しては、タブレットだと見えないので、看護師が、こう先生に写真などを添付して送りました、とイメージして寸劇出来れば。</p>
阿久津委員	<p>パワポを使うとか。</p>
馬渡委員	<p>そうですね。MSCで送っていい事や、こんな事も連絡できるのかと活用に活かせる。一人の患者さんに関して問題を共有し、解決方法を皆で考えていくイメージがつくのではないか。</p>
阿久津委員	<p>ロールプレイと発表形式があると思うが、ロールプレイをやるとなると人が問題。練習も大変。</p>
馬渡委員	<p>時間と労力が必要。</p>
阿久津委員	<p>ロールプレイをやる時は小さい形で、全体が分かった後にロールプレイでやると復習になる。</p>
馬渡委員	<p>ロールプレイでは演じて感じたことをシェアできる。寸劇だとイメージでわかってもらえる。</p>
阿久津委員	<p>行田人に出てくる職種が全部関わるといい形になる。</p>

古田委員	一つのケースがあって、それをどうにかしていくのだというのをグループワークと書いたが、そういうのをやってもらえると、ここで歯科医が出ていくのだなと分かる。
阿久津委員	その方向で進めていこうとは考えている。
馬渡委員	色んな課題が見えてくる。
阿久津委員	分かり易いのは動画。ただ、人を集めて練習するのは大変。
馬渡委員	現実にはできるかどうか。
阿久津委員	それをふまえて、どうしたら分かり易いかというのを今度検討する。
馬渡委員	役者はいないですか？
小林(雅)委員	できあがっているのを見るのはどうか。秩父市で何パターンかDVDを作っている。4パターンくらいあった。主任ケアマネの更新研修に行った時の先生から無料で分けていただけると聞いた。私も実際看取りのものを見た。時間は30分かからなかった。
阿久津委員	それを見て説明するというもの良い。
馬渡委員	在宅医療の協議会か何かで持っているのではなく、主任ケアマネの？
小林(雅)委員	市で持っている。こういう部会の方とか、医師会の方が皆が共同で演じている。

阿久津委員	その DVD は戴ける？
小林(雅)委員	お願いはできます。
阿久津委員	それを見てからまた考えますか？
馬渡委員	それがあれば自分たちが演じなくても済む。
小林(雅)委員	秩父はカメラマンだけを依頼したと言っていた。いるメンバーが出演している。一般市民の方にも見ていただく。
馬渡委員	行田でもやれると良い。
阿久津委員	市民にも見ていただいた方が良い。 秩父の DVD を皆で観て、行田はどうやっていくか考える。
小林(雅)委員	連絡を取ってみます。
阿久津委員	1 議題としては、方向性として介護保険の流れを知るという形。秩父の DVD を観て、どうやっていくか各論とする。 2 議題として研修会の反省。現場介護職、特に施設職員（入所系）の参加が少ない。市が確認したところ、事業所への連絡は末端に迄いっている事が分かった。どうしたら参加が期待できるかなげかけたところ、事業所に紹介したら参加してくれるのではないか、知識力の向上の為に「行田市認定〇〇制度を作れば参加が増えるのではないか、参加意義の向上の為に「行田市認定〇〇協力施設」と、参加率に応じステッカーにしたらどうかと意見があった。市に伺うがこういう事は可能か？
事務局(春日)	要検討になる。市が認定を出すとなると、それなりの責任が出てくる。要項作成なり、ある程度認められなければならない。

阿久津委員	基準を作らないと無理。
事務局(春日)	そうですね、基準作りからなので、直ぐ返答はできない。検討はできる。
阿久津委員	いいアイデアだと思うので検討をお願いしたい。
笠原委員	修了証という考え方もある。
阿久津委員	修了証でも良い。修了証がいくつ事業所にあるか。それを行田人に掲げても良い。認定などにこだわらなくても、発信する方法はどうか。皆さん如何か？
馬渡委員	うちの事業所は遠方から来ている職員が多く、夜の研修参加の強制が出来ない。土曜日の昼間などはどうか。アンケートをとってはどうか。
阿久津委員	研修の都合がいい日、時間を各事業所にアンケートをとるという事か？
馬渡委員	職種によって参加しやすいのは？
事務局(春日)	色々です。やったことありますが、いつも夜でなくて、昼間にも開催してほしいという意見はある。ここの研修会はほぼ夜なので、たまには昼間に開催する事も出来ると思う。
阿久津委員	昼間に開催したいという割合は結構でている？
事務局(春日)	きちんとした割合ではないが、自由記載の所で必ず書かれてくる。

馬渡委員	アンケートでどんな時間帯なら参加しやすいか聞きたい。
阿久津委員	参加しやすい時間など、今度多職種合同意見交換会で提案するのはどうか？
事務局(春日)	はい。
澤田委員	早い時間と遅い時間の2回あったらどうか。
阿久津委員	VR研修の時はそうでした。
澤田委員	参加は就業時間内なのか、休日なのか。夕方のものは時間外なのか。そういうのでも参加率は大分違うのではないか。
阿久津委員	事業主から推薦されているが許可をもらいやすいのか、もらいにくいのかというところも大きい。
澤田委員	<p>事業主自体もどう捉えているのか、そういうアナウンスの仕方でも変わってくる。</p> <p>元々は、事業主が研修に参加すると利点がありますというのを分かってほしくて、紹介はどうかという話をした。</p>
阿久津委員	<p>1月31日の多職種合同意見交換会の時に、今の意見を総合したアンケートを作成し方向性を見つける。受けやすい時間帯や事業主とか、自己啓発か職務として来ているのか。調査をしてから考える。認定や修了証に関しては市に検討してもらう。</p> <p>次3番、研修会の内容と回数だが、1年間やってきて、3研修は目一杯だと私は思っているが皆さんどうか。</p>
笠原委員	自作の寸劇に挑戦するなら時間かけても。

阿久津委員	3回目は市が独自でやるもの。ふらっとで考えるものは2研修か1研修という形になる。個人スキルは1研修となるか。
笠原委員	はい。
阿久津委員	摂食嚥下の研修と認知症支援研修、看取りについて、3つ上がっているが如何か？
笠原委員	前に保健所で多職種連携の研修をした時に、それぞれの施設や事業所から事例を出し、一問一答で聞いて、事例を細かく明らかにし、必要な支援を多職種が読み解いていくような研修をした。その中で認知症なら精神科の医師など、先生がミニ講話をした。多職種の考え方が分かるし、その後名刺交換するので、次の連携に繋がる。事例をこなすスーパーバイザーが必要。寸劇なら、他の職種を演じてみるも面白い。
阿久津委員	3の1の研修は摂食嚥下の関係で宜しいか。職種を変えて違う人の関わりで入った方が良い。 次回は2月14日。2週間でアンケート結果を纏めるのはきついか。部分的でも良いが。
事務局(春日)	3月にしては？来年度の話ですよ。
小林(雅)委員	3月15日は研修会ですが。
阿久津委員	連日となってしまう。
事務局(春日)	4月でいいのでは？
澤田委員	4月にしたら今度は研修を組むのが大変。

<p>事務局(春日)</p> <p>阿久津委員</p>	<p>2月にしますか？開催時間だけの集計なら出せる。</p> <p>では3月はなし。2月14日に来年度の計画を作る。何月にどの何をやるか決める。</p> <p>昨年は有難うございました。本年も宜しくお願い致します。</p> <p>[閉会]</p>
-----------------------------	---

